

発行者

北海道へき地・複式教育研究連盟
<http://dohekifuku.zenhekiren.net/index.html>

委員長 温泉 敏

編集責任者 前田 道弘

印刷所 山東印刷株式会社

夕張郡栗山町中央2丁目245 TEL 0123-72-1151

題字 書家 濱谷 彩鶴 (はまや さいかく) 氏

歩みを止めることなく、 次の一歩を踏み出しましょう

北海道へき地・複式教育研究連盟委員長 温泉 敏



先日の定期総会で委員長に再任されました温泉です。今年度もよろしくお願ひいたします。

皆さんもご存知のように、今年度の大きな事業の1つに全道大会胆振大会があります。

まず、昨年度、第70回記念大会で予定していた記念講演を今年度実施したいと考えています。講師は現行学習指導要領作成に関わった文科省の方を予定しています。

全体会、記念講演のライブ配信はもちろんですが、授業ライブ配信も昨年の1画面から2画面になるよう考えています。また、ワンモア配信については当日に配信したいと思います。あわせて、編集したダイジェスト版も、後日配信するように進めています。

全国へき地教育研究連盟と連携をしながら、昨年度よりも今年度、今年度よりも来年度と少しずつでもレベルアップをし、より高みを目指したいと思っています。

また、今年度はホームページ(以下、HPと略す)の活用を進めたいと考えています。都道府県単位、あるいはブロック単位でもこのようなHPをもっているところは北海道以外ないようです。

そうであれば、なおのことHPのよさを活かしていくことが大切だと考えます。これまでHPには過去の大会の資料や長期研究推進計画等が掲載されています。様々な実践資料の活用が図られることは大変良いことだと思います。

さらに新たな企画を立ち上げるなど、より身近な、より交流を図ることができる機会の一助となればいいなと思っています。

しかし、何といたっても私たちの活動の根っこになるのは各地区の公開研や学習会など「明日につながる」実践的研修だと思います。

私たち一人一人の「学び続ける姿」が何よりも大切なことは論をまたないでしょう。各地区の実践が明日の実践となっていくことを期待したいと思いますし、お互い努めていきたいと思っています。

これからはICTを活用することで、学校間、地域間での差がなくなり、誰もが気軽にICT機器を使う時代になるのでしょうか。私たちの授業観も「子どもが学びとる授業」へと変わっていかねばならないと思います。

「正解のない時代」といわれる昨今、求められているのは「答えの創造と実践」かもしれません。今後の歩みを止めないためにも、会員の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

令和4年度 定期総会の概要

5月13日(金)、ホテルライフオーソ札幌において、令和4年度北海道へき地・複式教育研究連盟の定期総会は、2年ぶりに全道各地区代議員の出席を得て会同しての開催となりました。

この総会にご来賓として、北海道教育庁学校教育局指導担当局長 中澤 美明 様をはじめ、日本教育公務員弘済会、北海道教育大学、北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道立教育研究所、道へき複連OB会から計7名のご臨席をいただきました。

総会は、渡島・檜山地区の加藤・西山両代議員を議長に選出し、次第にそって進められました。

また総会に引き続き役員・代議員を対象とした研修会を開催し、日本教育公務員弘済会 北海道支部長 船山 純 様から弘済会事業とへき地・複式教育の関わりについて等、豊富な経験に基づく貴重なお話をいただきました。

◇主な総会内容◇

1. 業務報告

- (1) 令和3年度会務報告
 - ①事務局(会務報告、一般経過報告、その他)
 - ②総務部 ③研究部 ④財政部
- (2) 令和3年度組織検討委員会報告
- (3) 令和3年度会計決算報告
- (4) 令和3年度会計監査報告

2. 議 事

- (1) 令和3年度各部会務報告承認に関する件
- (2) 令和3年度会計決算報告並びに監査報告承認に関する件
- (3) 令和4年度活動方針並びに各部活動計画について
 - ①事務局 ②総務部 ③研究部 ④財政部
- (4) 令和4年度会計予算に関する件
- (5) 第71回全道へき地複式教育研究大会 胆振大会1stステージについて
- (6) その他

3. 感謝状贈呈

本連盟の活動に貢献されました方々に感謝状が贈呈されました。

財 政 部 長	松原 謙二 氏
監 査 委 員	渡辺 二夫 氏
研究推進委員	加渡 三之 氏
	駒井 崇 氏
	三宅 貴裕 氏
	斉藤 直彦 氏

令和4年度 活動方針・各部計画

◇◇◇ 基本方針・具体的内容 ◇◇◇

1. 「へき地性」「小規模性」「複式形態」の3特性を生かした教育の充実を図るための研究活動をより一層強力に推進する。

- (1) 第10次長期5か年研究推進計画4年目の研究に取り組む。
- (2) 課題別・共同研究の深化と拡充に努める。
- (3) 第71回全道へき地複式教育研究大会 胆振大会1stステージの成功に向け取り組む。
- (4) 第71回全道へき地複式教育研究大会 胆振大会 final ステージの次年度実施の取組を推進する。
- (5) 全道、各地区の研究成果を還流する。

2. 組織の強化と充実に努める。

- (1) 各地区へき・複連との連携、組織の強化を図る。
- (2) 事務局業務の効率化と情報・要請活動の活発化を図るとともに、組織体制の改善について検討する。
- (3) 各部活動の連携を密にして、執行体制の見直しを図り、その強化に努める。
- (4) 未加盟校及び非複式のへき地小規模校の加盟促進を図る。
- (5) 組織検討委員会を継続設置し、組織体制の改善・財政上の諸課題の解決を図る。
- (6) 適切な予算執行に努める。

3. 教育条件の整備と拡充に努める。

- (1) へき地・小規模・複式学級を有する学校の一層の条件整備を進める。
- (2) 教職員の待遇改善を図る運動を進める。
- (3) 新へき地学校等級別指定に関わる 調査・要望活動を進める。
- (4) へき地・小規模・複式学級を有する学校及び地域の課題等の実態把握に努め、その対策について検討を進める。

4. 関係機関・関係団体との連携を一層強化する。

- (1) 北海道教育委員会、北海道立教育研究所、道小、道中、北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター、道教育大学各校、道へき・複連OB会、道P連等との連携を密にして、研究活動の深化や条件整備、待遇改善に努める。
- (2) 「全へき連HP」への寄稿協力及び活用の啓発に取り組む。
- (3) 各関係機関、関係団体との成果、資料の交流を図る。

令和4年度 諸会議・事業一覧

月	日	曜	会議・事業等
5	12	木	令和3年度第6回常任委員会
	13	金	令和4年度定期総会
	16・17	月・火	第1回組織検討委員会
			第1回常任委員会
			第1回企画委員会
26	木	第1回研究推進委員会	
27	金	全へき連春季総会 全へき連第1回理事会 全へき連第1回図書編纂委員会	
6	10	金	道へき・複連情報173号発行
	21	火	第2回常任委員会
	24	金	道研講座
	30・7/1	木・金	全へき連第2回理事会
7	4・5	月・火 木・金	第2回企画委員会
			第2回研究推進委員会
8	1	月	第3回常任委員会
			第2回組織検討委員会
9	13	火	第4回常任委員会
			第3回研究推進委員会
	14	水	第1回監査委員会
			評議委員会
			第71回全道へき地複式教育 研究大会胆振大会1stステージ
	22	木	道研講座
	28	水	全へき連第3回理事会 全へき連秋季総会
29・30	木・金	第71回全へき研山形大会	
11	11	金	道へき・複連情報174号発行
	28	月	全へき連ブロック代表者会議 (第4回理事会)
	29・30	火・水	第48回全へき連研究推進協議会 全へき連第2回図書編纂委員会
1	23	月	第5回常任委員会
	27	金	第3回組織検討委員会 全へき連第3回図書編纂委員会
2	13・14	月・火	第3回企画委員会
			第4回研究推進委員会
	16	木	道へき・複連情報175号発行
16・17	木・金	全へき連第5回理事会	
5	11	木	第6回常任委員会
	12	金	第2回監査委員会 令和5年度定期総会

1. 情報関係活動計画

(1) 方針と重点

道へき・複連の活動状況の周知と会員の意思疎通を図るため、へき地・複式教育の糧となる情報「道へき・複連情報」を発行するとともにホームページの内容充実に努める。

- ① 執筆者に負担とにならないよう配慮する。
- ② 年3回発行し、連盟の活動と全道の研究の様子が伝わる情報誌になるよう工夫する。
- ③ ホームページの内容充実と有効活用を図る。

(2) 活動計画

- ① 道へき・複連情報173号の発行
 - ・発行日 令和4年6月10日(金)
 - ・内容 令和4年度総会特集、胆振大会案内
- ② 道へき・複連情報174号の発行
 - ・発行日 令和4年11月11日(金)
 - ・内容 第71回全道へき地複式教育研究大会胆振大会1stステージ特集
- ③ 道へき・複連情報175号の発行
 - ・発行日 令和5年2月16日(木)
 - ・内容 令和4年度活動報告特集

2. 全国へき地教育研究連盟関係

(1) 方針と重点

本道のへき地・複式教育は全国のへき地・複式教育の先進地であり、全国の研究を支える気構えで連携を保ち、北海道のへき地・複式教育を全国に発信する。平成11年から、全へき連業務の一部を引き継ぎ「全国へき地教育新聞」の購読拡大、原稿執筆依頼等の業務を遺漏のないように推進する。

(2) 活動計画

- ① 「全国へき地教育研究連盟HP」の啓発
- ② 「全国へき地教育研究連盟HP」執筆の取組

【原稿種別】

- ・論評(市町村教育長、各局指導主事等)
- ・山紫水明(校長)
- ・保健室より(養護教諭)
- ・事務室より(事務職員)
- ・研究実践校紹介(実践校)
- ・若者の広場
- ・学習指導案

総務部

1. 方針

道へき・複連の目的に沿って、各地区へき地・複式教育研究団体の活動を促進し、関係団体との連携を密にする。また、調査活動の充実を図り、道へき・複連の組織強化と適正な運営に努め、本道へき地・複式教育の振興に寄与する。

2. 活動内容

- (1) 各地区との連携
- (2) へき地教育に関する調査
 - ※全へき連基本調査への協力
- (3) 道へき・複連独自調査の実施
 - ※へき地・小規模・複式校及び地域の課題と対策に関わる調査
- (4) 陳情、要請活動
 - ※全へき連、道教委、道研、地教委 等
- (5) 関係機関との連携
 - ※道小指名理事としての活動
- (6) 道へき・複連組織に関わる課題検討
- (7) その他、各部に属さないこと

3. 具体的活動

- (1) 全へき連関係
 - ①全へき連との連携を密にし、組織強化と研究推進に関して道へき・複連の要望が生かされるように努める。
 - ②へき地・複式教育の条件整備と待遇改善の取組をより強化し、本道の実態に即した振興策に反映するよう努める。
 - ③定数改善（専任教頭及び養護教諭、事務職員の全校配置）に向けて、陳情、要請活動を関係機関・団体に対して強く行う。
 - ④全へき連基本調査への協力
 - ※実態・根拠に基づく条件整備の実現に向けて
- (2) 道へき・複連関係
 - ①組織の活性化、加盟促進を目指し、へき地複式教育や道へき・複連の活動についての情報提供・交流に努める。
 - ②組織検討委員会を設け、道へき・複連の組織上の問題、全へき連負担金納入の適正化等についての検討を行う。
 - ③関係機関・団体との連携・協力を一層強化する。
 - ※道教委、道小、道中、道研、北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター、道P連 等
 - ※へき地教育講座への積極的参加
 - ④未加盟校のある地区の実態を考慮しながら加盟促進を図る。
 - ⑤地域の課題とその対策等に関わる調査を実施する。
 - ⑥次回のへき地指定級見直しに向けて道教委の動きを注視しつつ、関係機関・団体との連携を図る。
- (3) その他
 - ①道へき・複連事務局や各地区との連携を図り、事業の推進に努める。
 - ②道小の指名理事として、道小理事研修会に出席し、道小と道へき・複連との連携を図る。

研究部

1. 研究主題

「主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成」～児童生徒一人一人が仲間とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

2. 活動の重点

- (1) 各種研究大会への協力と情報の提供
- (2) 第10次長期5か年研究推進計画（4年次）の推進及び実践記録の蓄積・収集
- (3) 研究資料・情報等の編集と発行
- (4) 各地区へき・複連及び教育関係機関・団体等との連携

3. 具体的活動内容

- (1) 「第71回全道へき地複式教育研究大会胆振大会（ファーストステージ）」の開催と共同運営
 - ①現地実行委員会との緊密な連携・協力
 - ②準備・構想等の分担と協力体制の構築
 - ③分散会の企画・運営・実施
 - ④大会の共同運営
 - ⑤研究集録作成への協力と情報提供
- (2) 共同研究体制の強化と実践研究の充実
 - ①研究推進委員長を中心とする研究組織体制の確立
 - ②企画委員会、研究推進委員会の効果的運営
 - ③各地区へき・複連研究活動への協力
 - ④未加盟校等への共同研究参加の呼びかけ
- (3) 第10次長期5か年研究推進計画4年次としての推進
 - ①各大会の成果・課題と実践事例等の収集
 - ②地区へき・複連の研究活動等の蓄積と交流
- (4) 研究資料の編集と発行
 - ①道へき・複連「研究部情報」の発行(年2回)
 - ②道へき・複連研究主題等の一覧表の作成
 - ③全へき連発刊図書（実践事例集）への協力
 - ④ホームページへの掲載
- (5) 教育関係各機関・団体等との連携
 - ①北海道教育委員会、各教育局、教育研究所、北海道教育大学等との連携
 - ②全国へき地教育研究連盟との連携
 - ・「第71回全国へき地教育研究大会山形大会」への協力と情報提供
 - ・全へき連 研究図書編纂委員会
 - ・全国へき地教育研究推進協議会

令和3年度 北海道へき地・複式教育研究連盟一般会計 決算報告

令和4年3月31日現在

【収入の部】

※増減は予算比

項目	令和3年度予算	令和3年度決算	増(△)・減(▲)	備考
会費	2,968,092	3,013,332	△ 45,240	令和3年度加盟校217校, 加盟会員1,442名
繰越金	1,751,123	1,751,123	△ 0	令和2年度繰越金
繰入金	600,000	600,000	△ 0	運営資金会計から
助成金	280,000	280,000	△ 0	弘済会より
雑収入	30	44	△ 14	預金利息 他
合計	5,599,245	5,644,499	△ 45,254	

【支出の部】

※増減は予算比

項目	令和3年度予算	令和3年度決算	増(△)・減(▲)	備考
1. 研究大会費	1,450,000	1,450,000	△ 0	オホーツク大会(45万) 胆振1st・finalステージ大会(100万)
1. 大会運営	840,000	840,000	△ 0	オホーツク大会(25万) 胆振1st・finalステージ大会(59万)
2. 印刷製本	600,000	600,000	△ 0	研究収録等 オホーツク大会(20万) 胆振1st・finalステージ大会(40万)
3. 事務局費	10,000	10,000	△ 0	事務局運営費(胆振1st・finalステージ大会)
2. 研究調査費	1,620,000	710,630	▲ 909,370	
1. 旅費	1,600,000	690,630	▲ 909,370	企画委員会、研究推進委員会、弘済会助成金含
2. 印刷製本	10,000	10,000	△ 0	用紙・CD-R代等
3. 通信運搬	10,000	10,000	△ 0	連絡用郵券、送料
3. 研成刊行費	242,000	212,520	▲ 29,480	
1. 印刷製本	240,000	211,200	▲ 28,800	『情報』誌
2. 通信運搬	2,000	1,320	▲ 680	振込手数料(3回)
4. 事務局費	2,287,245	1,653,221	▲ 634,024	
1. 旅費	1,350,000	1,406,360	△ 56,360	総会、常任委、組織検討委
2. 消耗品費	10,000	10,000	△ 0	総会等用紙代
3. 通信運搬	30,000	30,825	△ 825	諸会議案内郵券、送料、手数料
4. 借料損料	100,000	72,732	▲ 27,268	諸会議会場借料
5. 会計手当	30,000	30,000	△ 0	会計手当
6. 記念誌	30,000	30,000	△ 0	
7. 予備費	737,245	73,304	▲ 663,941	議案製本、感謝状、名刺等
合計	5,599,245	4,026,371	▲ 1,572,874	

収入 支出 残金
5,644,499円 - 4,026,371円 = 1,618,128円

残金については、次年度へ繰り越します。

令和4年度 北海道へき地・複式教育研究連盟一般会計予算案

※増減は前年度予算比

【収入の部】

項 目	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	増(△)・減(▲)	備 考
会 費	2,968,092	3,013,332	2,939,208	▲ 28,884	令和4年度加盟校211校, 加盟会員1,408名
繰 越 金	1,751,123	1,751,123	1,618,128	▲ 132,995	令和3年度繰越金
繰 入 金	600,000	600,000	600,000	△ 0	運営資金会計から
助 成 金	280,000	280,000	280,000	△ 0	弘済会助成金
雑 収 入	30	44	30	△ 0	預金利息
合 計	5,599,245	5,644,499	5,437,366	▲ 161,879	

【支出の部】

項 目	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	増(△)・減(▲)	備 考
1. 研究大会費	1,450,000	1,450,000	0	▲1,450,000	*R3年度にR4・5年度胆振大会100万円支払済 R5年度かR6年度に上川大会100万円支払予定
1. 大会運営	840,000	840,000	0	▲ 840,000	*R5年度かR6年度に大会運営費として R6・7年度用に上川地区へ59万円支払予定
2. 印刷製本	600,000	600,000	0	▲ 600,000	*R5年度かR6年度に研究集録等費として R6・7年度用に上川地区へ40万円支払予定
3. 事務局費	10,000	10,000	0	▲ 10,000	*R5年度かR6年度に事務局運営費として R6・7年度用に上川地区へ1万円支払予定
2. 研究調査費	1,620,000	710,630	2,020,000	△ 400,000	
1. 旅 費	1,600,000	690,630	2,000,000	△ 400,000	企画委員会、研究推進委員会等
2. 印刷製本	10,000	10,000	10,000	△ 0	用紙代、CD等記録媒体代
3. 通信運搬	10,000	10,000	10,000	△ 0	連絡用郵券、送料
3. 研成刊行費	242,000	212,520	212,000	▲ 30,000	
1. 印刷製本	240,000	211,200	210,000	▲ 30,000	情報誌印刷発送料
2. 通信運搬	2,000	1,320	2,000	△ 0	振込手数料(3回)
4. 事務局費	2,287,245	1,653,221	3,205,366	△ 918,121	
1. 旅 費	1,350,000	1,406,360	2,000,000	△ 650,000	総会、常任委、組織検討委等
2. 消耗品費	10,000	10,000	10,000	△ 0	用紙代等
3. 通信運搬	30,000	30,825	30,000	△ 0	諸会議案内郵券、送料、手数料
4. 借料損料	100,000	72,732	100,000	△ 0	諸会議会場借料
5. 会計手当	30,000	30,000	30,000	△ 0	会計手当
6. 記念誌	30,000	30,000	30,000	△ 0	80周年記念誌に向けての積立
7. HP更新料	0	0	120,000	△ 120,000	HP更新料1か月10,000円×12か月
8. 予備費	737,245	73,304	1,005,366	△ 268,121	議案製本, 感謝状, 名刺, 等
合 計	5,599,245	4,026,371	5,437,366	▲ 161,879	

総会の様子



北海道へき地・複式教育研究連盟 温泉敏委員長の挨拶



ご来賓を迎え、参集型で実施



6名の方に感謝状贈呈



船山 純 様による役員研修会

役員研修会概要

総会后、「役員研修会」が開催されました。日本教育公務員弘済会（日教弘）北海道支部長 船山 純 様より、「弘済会事業とへき地・複式教育の関わりについて」と題され、ご自身の経験を交えながらご講演いただきました。概要は次の通りです。

1 弘済会とへき地・複式教育の関わり、（公財）日教弘北海道支部の事業について

- ・ 弘済会は昭和27年に「相互扶助の精神に基づく共済事業」としてスタートし、道支部は北海道教育界のOBが4種校長会等と連携して運営にあたっている組織である。
- ・ 道支部の年間事業費は約2億円であり、福祉事業（宿泊施設補助など）・共済事業（保険事業など）のほか、主たる事業として教育振興事業があり、そのうち、へき複連への研究団体助成やへき地教育支援事業などをが行われている。

2 これまでの経験から

- ・ ご自身は小学校8校に勤務され、校長としては「研修の充実」「業務の効率化」をテーマに掲げ、校内勉強会の開催・支援システムの自作・出版物の編纂など、学校改善に取り組まれてきた豊富な実践を紹介していただきました。

3 ライフステージを考える

- ・ 人生100年時代を迎え、健康面や金銭面などの生き方の見通しを持つことや、「時間は一見平等なようで、生きる時間は有限で不平等。だからこそ、時は最大の財産」などの今後の生き方への助言をいただきました。

第71回全道へき地複式教育研究大会胆振大会ファーストステージ 《全国へき地教育研究連盟北海道ブロック研究大会》

胆振でお待ちしています

全道へき地複式教育研究大会胆振大会ファーストステージ 実行委員長 前田道弘

■研究主題 「主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成」
～児童生徒一人一人が仲間とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす
学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

■研究主題 全国へき地教育研究連盟5カ年研究推進計画の研究主題及び北海道へき地・複式教育研究連盟5カ年研究推進計画の研究主題を踏まえて、胆振地区におけるへき地教育実践をもとに、北海道ブロックにおけるへき地教育の研究成果を交流するとともに、へき地教育の今日的課題について研究協議し、もってへき地教育の充実を図る

■胆振大会スローガン 「産業豊かな多様性に満ちた胆振の地から 子どもたちに未来へ飛躍する力を」

■大会日程

《1日目》9月14日（水）洞爺湖文化センター 虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉 142-140

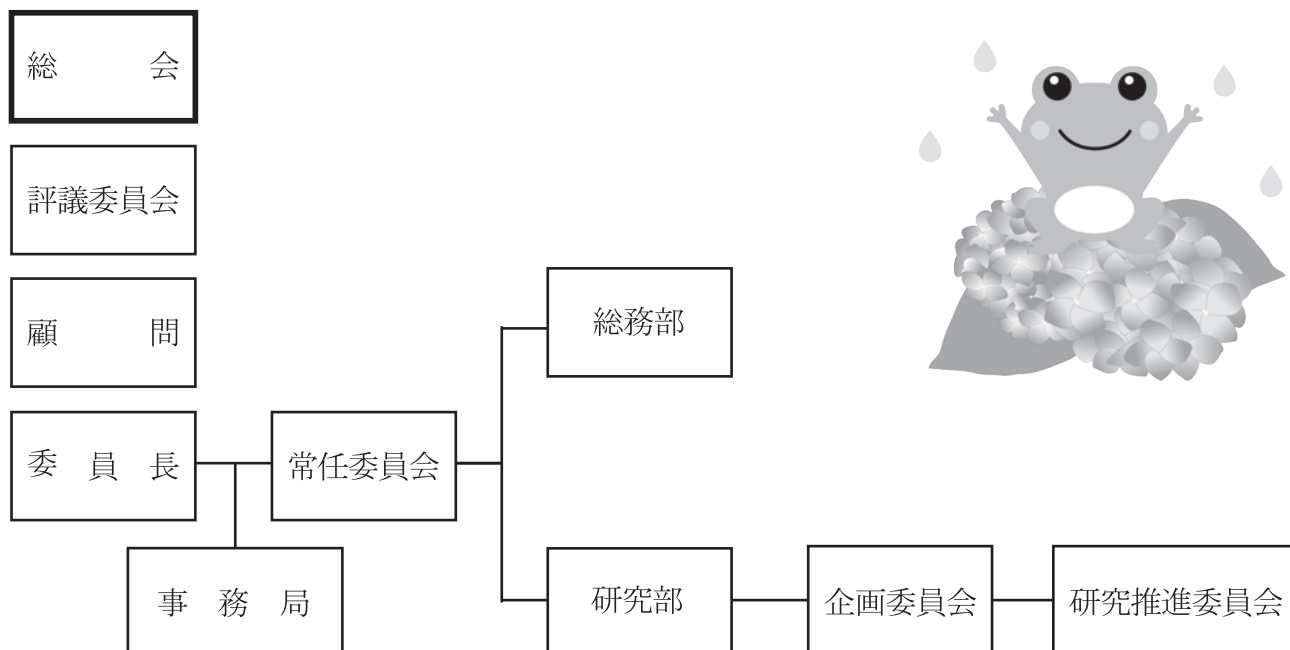
12:30～13:00	13:00～13:40	13:50～15:00	15:10～16:40	16:50～17:10		18:30～
受付	開会式	記念講演	分散会	閉会式		歓迎交流会

《2日目》9月15日（木）

8:30～9:00	9:00～9:45	10:00～10:45	11:00～12:00	12:00～13:00	13:00～15:00	15:00～15:30
受付	授業公開①	授業公開②	開会式 研究発表	昼食	研究協議	閉会式

分科会	会場校名 校長名	研究主題 ～副主題～	分野・課題 公開予定授業等
第1分科会	洞爺湖町立とうや小学校 山下文人	「単式でも複式でも使える『学びの質を高める』 学習指導の探究」 ～少人数のメリットを活かした学習指導の改善と工夫～	学校・学級経営1 学習指導6 ①算数 ②算数
第2分科会	伊達市立大滝徳舜警学校 羽根秀哉	「未来を創る児童・生徒の育成」 ～少人数・複式学級における コミュニケーション力の向上を通して～	学校・学級経営1 学習指導5・6 ①道徳(遠隔;関内小) ②算数
第3分科会	白老町立虎杖小学校 関東英政	「共に高め合う児童を目指して」 ～児童の発達に応じた主体的・協働的な学びを通して～	学校・学級経営1 学習指導5・6 ①道徳(遠隔;竹浦小) ②国語
第4分科会	苫小牧市立樽前小学校 深松一宏	「主体的に学び合い、ともに高まろうとする 児童の育成」 ～リーダー学習の取り組みを通して～	学校・学級経営1 学習指導6 ①算数 ②算数

北海道へき地・複式教育研究連盟の組織



令和4年度 北海道へき地・複式教育研究連盟 役員名簿

役職名	氏名	地区	学校名	電話番号
顧問	柿崎 秀 顕 (全へき連会長)		北海道教育大学札幌校	011-778-0684
	古田 統 (前道へき複委員長)	後志	ニセコ町立近藤小学校	0136-44-2852
委員長	温泉 敏	上川	美瑛町立美沢小学校	0166-92-4960
副委員長	総務部長 小野田 年 克	十勝	鹿追町立通明小学校	0156-67-2466
	研究部長 森 広 明	上川	士別市立多寄小学校	0165-26-2151
監査委員	中川 真 人	後志	喜茂別町立鈴川小学校	0136-33-6302
	尾花 靖 宏	空知	岩見沢市立メープル小学校	0126-44-2205
財政部長	北村 剛	石狩	千歳市立駒里小中学校	0123-23-3237
事務局長	井上 隆 一	上川	占冠村立占冠中央小学校	0167-56-2824
事務局次長	前田 道 弘	胆振	白老町立竹浦小学校	0144-87-2118



令和4年度 各地区へき・複連 委員長／事務局長

地区	委員長(会長)		事務局長		
	氏名	学校名	氏名	学校名	電話番号
石狩	徳田 和之	石狩市立浜益小学校	東峰 宏紀	千歳市立支笏湖小学校	0123-25-2729
空知	古畑 聡子	深川市立北新小学校	柳野 清	深川市立納内小学校	0164-24-2602
後志	荒木 俊行	神恵内村立神恵内小学校	道場 伸哉	寿都町立潮路小学校	0136-64-5003
渡島	加藤 良明	北斗市立沖川小学校	遠藤 淳	森町立尾白内小学校	01374-2-2389
檜山	西山 恭史	せたな町立久遠小学校	鈴木 秀樹	今金町立種川小学校	0137-82-0506
胆振	前田 道弘	白老町立竹浦小学校	中島 勉	安平町立安平小学校	0145-23-2266
日高	佐藤 正寿	新ひだか町立桜丘小学校	熊谷 真	えりも町立えりも岬小学校	01466-3-1114
上川	温泉 敏	美瑛町立美沢小学校	森 広明	士別市立多寄小学校	0165-26-2151
留萌	安居 和	初山別村立初山別小学校	建山 和則	小平町立鬼鹿小学校	0164-57-1160
宗谷	小島 康秀	稚内市立大岬小学校	黒木 敏郎	稚内市立天北小学校	0162-74-2414
オホーツク	落合 利広	西興部村上興部小学校	山田 敏弘	北見市立川沿小学校	0152-56-2002
十勝	小野田年克	鹿追町立通明小学校	高橋 教之	鹿追町立笹川小学校	0156-66-3505
釧路	下山 孝善	標茶町立磯分内小学校	富田 義宏	厚岸町立太田小学校	0153-52-2007
根室	菅原 晋	別海町立上春別小学校	久保木 聡	根室市立花咲港小学校	0153-25-8859

令和4年度 道へき・複連 研究推進委員

道へき・複連研究部長 森 広明(士別市立多寄小学校) TEL 0165-26-2151

地区	役・担当	氏名	学校名	電話番号
石狩	学習指導部員	岡山 拓	石狩市立厚田学園	0133-77-5356
空知	学校・学級経営部員	土谷 直樹	栗山町立継立小学校	0123-76-3151
後志	学校・学級経営部員	道下 誠	積丹町立美国小学校	0135-44-2044
渡島	学校・学級経営部員	大山 真由美	北斗市立島川小学校	0138-77-8625
檜山	研究推進副委員長	黒川 貴功	今金町立種川小学校	0137-82-0506
胆振	学習指導部員	羽根 秀哉	伊達市立大滝徳舜警学校	0142-68-6915
日高	研究推進副委員長	高橋 郁子	えりも町立えりも岬小学校	01466-3-1114
上川	学習指導部長	池田 幸則	中富良野町立西中小学校	0167-44-2062
留萌	研究推進委員長	村元 隆一	留萌市立港北小学校	0164-42-0335
宗谷	学校・学級経営部員	菊地 俊雄	枝幸町立音標小学校	0163-66-1073
オホーツク	学習指導部員	堀田 大次郎	北見市立相内小学校	0157-37-2824
十勝	学校・学級経営部長	増田 覚	音更町立東士幌小学校	0155-43-2311
釧路	学習指導部員	河原 和範	標茶町立沼幌小学校	015-488-4231
根室	学習指導部員	伊藤 秀則	別海町立上風連小学校	0153-75-7102